

橋下徹 13日 大阪市役所「慰安婦制度必要」「在沖縄海兵隊は風俗利用を」・・・報道のまとめ 2013-05-14 02:58:28 薔薇、または陽だまりの猫

旧日本軍慰安婦には「優しい言葉」をかけ、優しい気持ちで接しなければ／橋下徹

「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で命をかけて走っていくときに、精神的にも高ぶっている勇者集団をどこかで休息させてあげようと思ったら、慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる」

「当時の歴史を調べたら、日本国軍だけでなく、いろんな軍で（慰安婦を）活用していた」

「なぜ日本の慰安婦だけが世界的に取り上げられるのか。日本は国をあげて強制的に慰安婦を拉致し、職業に就かせたと世界は非難している。だが、2007年の（第1次安倍内閣の）閣議決定では、そういう証拠がないとなっている」

「事実と違うことで日本国が不当に侮辱を受けていることにはしっかり主張しなければいけない」

「意に反して慰安婦になったのは戦争の悲劇の結果。戦争の責任は日本国にもある。慰安婦の方には優しい言葉をしっかりかけなければいけないし、優しい気持ちで接しなければいけない」

「日本は敗戦国。敗戦の結果として、侵略だと受け止めないといけない。実際に多大な苦痛と損害を周辺諸国に与えたことも間違いない。反省とおわびはしなければいけない」

「学術上、（侵略の）定義がないのは安倍首相が言われているとおり」

13日夕には、5月初めに沖縄県米軍普天間飛行場を訪問した際、司令官に「もっと風俗業を活用してほしい」と進言した、と自慢話を披露。

「慰安婦制度じゃなくても風俗業は必要だと思う。（米軍の司令官には）『法律の範囲内で認められている中で、性的なエネルギーを合法的に解消できる場所は日本にあるわけだから、もっと真正面からそういう所（風俗業）を活用してもらわないと、海兵隊の勇者の性的なエネルギーをきちんとコントロールできないじゃないですか。建前論じゃなくて、もっと活用してほしい』と言った」

「司令官は凍り付いたように苦笑いになって『禁止している』と言った。『行くなと通達を出しているし、これ以上この話はやめよう』と打ち切られた」

「兵士は自分の命を落とすかも分からない極限の状況まで追い込まれるような仕事。エネルギーはありあまっている。どこかで発散することはしっかり考えないといけない」

13日 午前と午後、大阪市役所で 橋下徹が記者団に語った。（マスコミ報道まとめ）

【午前】

侵略の定義について学術上、きちんと定義がないことは安倍首相が言われているとおりだが、日本は敗戦国。敗戦の結果として侵略だということはしっかりと受け止めないといけない。実際に多大な苦痛と損害を周辺諸国に与えたことも間違いない。反省とおわびはしなければいけない。

ただ、事実と違うことで日本国が不当に侮辱を受けていることにはしっかりと主張しなければいけない。

なぜ日本の慰安婦問題だけが世界的に取り上げられるのか。日本は「レイプ国家」だと、国をあげて強制的に慰安婦を拉致し、職業に就かせたと世界は非難している。その点についてはやっぱり、違うところは違うと言わないといけない。

意に反して慰安婦になってしまった方は、戦争の悲劇の結果でもある。戦争の責任は日本国にもある。心情をしっかりと理解して、優しく配慮していくことが必要だ。

当時は日本だけでなくいろんな軍で慰安婦制度を活用していた。あれだけ銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で命をかけて走っていくときに、そんな猛者集団というか、精神的にも高ぶっている集団は、どこかで休息をさせてあげようと思ったら慰安婦制度は必要なのはこれは誰だってわかる。

ただ、日本国が、韓国とかいろんなところの宣伝の効果があって、レイプ国家だと見られてしまっている。ここが一番問題。証拠が出てくれば認めなきゃいけないが、今のところ2007年の（第1次安倍内閣の）閣議決定ではそういう証拠がないとなっている。そこはしっかり言っていかなきゃいけない。

【午後】

慰安婦制度じゃなくても、風俗業っていうものは必要だと思う。だから沖縄の海兵隊・普天間に行ったとき、司令官に「もっと風俗業を活用してほしい」と言った。司令官は凍り付いたように苦笑いになって「米軍ではオフリミッツ（出入り禁止）だ」と。（ぼくは）「そんな建前みたいなことを言うからおかしくなるんですよ。法律の範囲内で認められている中で、いわゆるそういう性的なエネルギーを合法的に解消できる場所は日本にあるわけだから、もっと真正面からそういう所を活用してもらわないと、海兵隊の猛者の性的なエネルギーをきちんとコントロールできない」と言った。（司令官からは）「行くなと通達を出しているし、これ以上この話はやめよう」と打ち切られた。

兵士なんていうのは、命を落とすかも分からない極限の状況まで追い込まれるような任務のわけで、どっかで発散するとか、そういうことはしっかりと考えないといけない。建前論ばかりでは人間社会は回らない。

（慰安婦制度は）朝鮮戦争の時もあった。沖縄占領時代だって、日本人の女性が米軍基地の周辺

でそういうところに携わっていた。良いか悪いかは別で、あったのは間違いない。戦争責任の一環としてそういう女性たちに配慮しなければいけないが、そういう仕事があったことまでは否定できない。

歴史をひもといたら、いろんな戦争で、勝った側が負けた側をレイプするだのなんなのっていうのは、山ほどある。そういうのを抑えていくためには、一定の慰安婦みたいな制度が必要だったのも厳然たる事実だ。そんな中で、なぜ日本が世界から非難されているのかを、日本国民は知っておかないといけない。

「慰安婦制度じゃなくても風俗業は必要だと思う。(米軍の司令官には)『法律の範囲内で認められている中で、性的なエネルギーを合法的に解消できる場所は日本にあるわけだから、もっと真正面からそういう所(風俗業)を活用してもらわないと、海兵隊の猛者の性的なエネルギーをきちんとコントロールできないじゃないですか。建前論じゃなくて、もっと活用してほしい』と言った」

「司令官は凍り付いたように苦笑いになって『禁止している』と言った。『行くなと通達を出しているし、これ以上この話はやめよう』と打ち切られた」

「兵士は自分の命を落とすかも分からない極限の状況まで追い込まれるような仕事。エネルギーはありあまっている。どこかで発散することはしっかり考えないといけない」

橋下氏の発言要旨＝従軍慰安婦問題／時事

http://www.jiji.com/jc/c?g=pol_30&k=2013051300931

日本維新の会の橋下徹共同代表が13日に行った従軍慰安婦問題に関する発言の要旨は次の通り。

▽13日午前(大阪市役所で記者団に)

敗戦の結果として、侵略だということはしっかりと受け止めなければいけない。実際に多大な苦痛と損害を周辺諸国に与えたことも間違いない。反省とおわびはしなければいけない。

慰安婦制度というのは世界各国の軍は持っていた。なぜ日本の従軍慰安婦制度だけが世界的に取り上げられるかと言うと、日本は軍を使って国家としてレイプをやっていたという、ものすごい批判を受けている。その点については、違うところは違うと言っていかなければいけない。

あれだけ銃弾が雨・嵐のごとく飛び交う中で、命を懸けて走っていく時に、猛者集団、精神的に高ぶっている集団をどこかで休息させてあげようと思ったら、慰安婦制度というものが必要なのは誰だって分かる。

今のところは、軍自体が、日本政府自体が暴行、脅迫をして女性を拉致したという事実は証拠に裏付けられていない。そこはしっかり言っていかなければいけない。ただ、意に反して慰安婦になった方に対しては、配慮はしなければいけない。

▽13 日夕（同所で記者団に）

慰安婦制度は必要だった。軍の規律を維持するためには、当時は必要だった。

歴史をひも解いたら、いろいろな戦争で、勝った側が負けた側の方をレイプするという事実は山ほどある。そういうのを抑えていくためには、一定の慰安婦みたいな制度が必要だったということも厳然たる事実だと思う。(2013/05/13-21:00)

橋下氏 慰安婦必要の認識を重ねて示す／NHK 5月13日 20時57分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130513/t10014548821000.html>

日本維新の会の橋下共同代表は、記者団に対し、自民党内からいわゆる「村山談話」について「侵略という文言を入れており、しっくりきていない」などの声が出ていることに関連して「周辺諸国に多大な苦痛と損害を与えたことは間違いない」と述べ、「侵略」として受けとめるべきだという考えを示しました。

自民党の高市政務調査会長は12日、過去の植民地支配と侵略に対し痛切な反省を表明したいいわゆる「村山談話」について「『侵略』という文言を入れており、しっくりきていない」などと述べました。

これに関連して、日本維新の会の橋下共同代表は、「侵略の定義については、学術上きちっと定義がないことは、安倍総理大臣が言われているとおりだが、日本は戦争をやって負けたわけで、戦勝国側からすれば、事実の評価を曲げることはできないだろう。日本が、実際に周辺諸国に多大な苦痛と損害を与えたことは間違いなく、敗戦の結果として、『侵略』だということはしっかりと受け止めるべきだ」と述べ、「侵略」として受けとめるべきだという考えを示しました。

また橋下氏は、いわゆる従軍慰安婦問題について、「当時の歴史を調べてみれば、日本だけではなく、いろんな国で慰安婦制度が活用されていたことが分かる。銃弾が雨嵐のごとく飛びかう中で、命をかけて走り、精神的に高ぶっている集団を休息させようと思ったら、慰安婦制度が必要なのは誰でも分かる」と述べました。

その一方で、橋下氏は「日本は、無理やり強制的に女性を拉致して慰安婦の職業につかせたと批判されているが、違うことは違うと言っていかなければいけない。日本政府が暴行脅迫したというのは、証拠に裏付けられていない。意に反して慰安婦になってしまった方は戦争の悲劇でもあり、

戦争の責任は日本にもあるのだから、慰安婦の方の心情を理解して、やさしく配慮することが必要だ」と述べました。

日本維新の会の橋下共同代表は、13日夜、大阪市で記者団に対し、いわゆる従軍慰安婦問題について、「いいか悪いかは別にして、軍の規律を維持するために当時は必要だった」と述べ、当時としては慰安婦の制度が必要だったという認識を重ねて示しました。

この中で橋下共同代表は、いわゆる従軍慰安婦問題について、「いいか悪いかは別にして、軍の規律を維持するために当時は必要だった。戦争に勝った側が、負けた側を乱暴するという事実は山ほどあり、そういうものを抑えるためにも、慰安婦のような制度が必要だったのは厳然たる事実だ」と述べ、当時としては、慰安婦の制度が必要だったという認識を重ねて示しました。

一方で橋下氏は、「慰安婦制度を、すべて否定するとかすべて正当化するのはだめだ。戦争の悲劇で生まれたものだから、意に反して慰安婦となった方には配慮を持って接しなければならない。政府が、拉致して暴行脅迫で無理やりそういう仕事につけさせたと世界から非難されているのは、違うと言わなければいけないし、国を挙げて拉致したという証拠が出てくれば、日本国として反省しなければいけない」と述べました。

また、橋下氏は、今月上旬に沖縄のアメリカ軍普天間基地を視察したことに関連して、「海兵隊の性的なエネルギーを解消するために、司令官に対して、『もっと風俗業を活用してほしい』と言ったら、司令官は凍りついて、『禁止している』と言っていた。法律の範囲内の風俗業は認めないと、建て前論ばかりでやっていたらだめだ」と述べました。

共同通信

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は13日、太平洋戦争下の従軍慰安婦制度について「当時は軍の規律を維持するために必要だった」と述べ、容認する考えを表明し「世界各国が持っていた。なぜ日本だけが取り上げられるのか」と反発した。

在日米軍幹部に対し、海兵隊員による風俗業者の活用を求めたことも明らかにした。市役所で記者団の質問に答えた。

橋下氏は慰安婦制度に関し「あれだけ銃弾が飛び交う中、精神的に高ぶっている猛者集団に必要なのは誰だって分かる」と持論を展開。夜にも「必要だった」との認識を重ねて強調した。

午前には「韓国とかいろんなところが宣伝し、欧米社会に『日本はレイプ国家だ』とみられている」と指摘。その上で「暴行、脅迫をして拉致した事実は裏付けられていない」とし、軍による強制連行を否定した。一方で「慰安婦は戦争の悲劇の結果だ。心情を理解し優しく配慮することが必要だ」と述べた。

橋下氏は大型連休初めに沖縄県の米軍普天間飛行場を視察。幹部に対し「海兵隊の猛者の性的エネルギーを解消できない」との理由で風俗業者の活用を求めたとした。

菅義偉官房長官は13日の記者会見で「橋下市長個人の見解ではないか」と指摘し、旧日本軍の関与と強制性を認めた1993年の河野洋平官房長官談話を見直さない考えを強調した。(共同)

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長の太平洋戦争中の従軍慰安婦に関する発言は次の通り／共同

【午前】あれだけ銃弾が飛び交う中、精神的に高ぶっている猛者集団に休息を与えようとする、慰安婦制度が必要なのは誰だって分かる。

なぜ、日本の従軍慰安婦制度だけが取り上げられるのか。当時は世界各国が持っていた。ベトナム戦争でも朝鮮戦争でも制度としてあった。

韓国とかいرونなところが宣伝し、欧米社会に「日本はレイプ国家だ」とみられている。ただ、暴行、脅迫をして拉致した事実は裏付けられていない。

戦争の悲劇の結果なので、慰安婦になってしまった方には、心情を理解して優しく配慮していくことが必要だ。

【午後】軍を維持し、規律を保つために、当時は必要だった。

慰安婦制度は、今は認められないが、風俗業は必要だと思う。だから（大型連休初めに）沖縄に行った時（米軍の）司令官に会い「もっと風俗業を活用してほしい」と言った。

そしたら司令官は凍り付いたような苦笑いになって「米軍では禁止だ」と言った。「そういう建前みたいなことを言っているからおかしくなる」と伝えた。(共同)

【午前】

侵略の定義について学術上、きちんと定義がないことは安倍首相が言われているとおりだが、日本は敗戦国。敗戦の結果として侵略だということはしっかりと受け止めないといけない。実際に多大な苦痛と損害を周辺諸国に与えたことも間違いない。反省とおわびはしなければいけない。

ただ、事実と違うことで日本国が不当に侮辱を受けていることにはしっかりと主張しなければいけない。

なぜ日本の慰安婦問題だけが世界的に取り上げられるのか。日本は「レイプ国家」だと、国をあげて強制的に慰安婦を拉致し、職業に就かせたと世界は非難している。その点についてはやっぱり、違うところは違うと言わないといけない。

意に反して慰安婦になってしまった方は、戦争の悲劇の結果でもある。戦争の責任は日本国にもある。心情をしっかりと理解して、優しく配慮していくことが必要だ。

当時は日本だけでなくいろんな軍で慰安婦制度を活用していた。あれだけ銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で命をかけて走っていくときに、そんな猛者集団というか、精神的にも高ぶっている集団は、どこかで休息をさせてあげようと思ったら慰安婦制度は必要なのはこれは誰だってわかる。

ただ、日本国が、韓国とかいろんなところの宣伝の効果があって、レイプ国家だと見られてしまっている。ここが一番問題。証拠が出てくれば認めなきゃいけないが、今のところ2007年の（第1次安倍内閣の）閣議決定ではそういう証拠がないとなっている。そこはしっかり言っていかなきゃいけない。

【午後】

慰安婦制度じゃなくても、風俗業っていうものは必要だと思う。だから沖縄の海兵隊・普天間に行ったとき、司令官に「もっと風俗業を活用してほしい」と言った。司令官は凍り付いたように苦笑いになって「米軍ではオフリミッツ（出入り禁止）だ」と。（ぼくは）「そんな建前みたいなことを言うからおかしくなるんですよ。法律の範囲内で認められている中で、いわゆるそういう性的なエネルギーを合法的に解消できる場所は日本にあるわけだから、もっと真正面からそういう所を活用してもらわないと、海兵隊の猛者の性的なエネルギーをきちんとコントロールできない」と言った。（司令官からは）「行くなと通達を出しているし、これ以上この話はやめよう」と打ち切られた。

兵士なんていうのは、命を落とすかも分からない極限の状況まで追い込まれるような任務のわけで、どっかで発散するとか、そういうことはしっかり考えないといけない。建前論ばかりでは人間社会は回らない。

（慰安婦制度は）朝鮮戦争の時もあった。沖縄占領時代だって、日本人の女性が米軍基地の周辺でそういうところに携わっていた。良いか悪いかは別で、あったのは間違いない。戦争責任の一環としてそういう女性たちに配慮しなければいけないが、そういう仕事があったことまでは否定できない。

歴史をひもといたら、いろんな戦争で、勝った側が負けた側をレイプするだのなんだのっていうのは、山ほどある。そういうのを抑えていくためには、一定の慰安婦みたいな制度が必要だったのも厳然たる事実だ。そんな中で、なぜ日本が世界から非難されているのかを、日本国民は知っておかないといけない。

橋下氏重ねて強調「慰安婦必要だった」 米軍には風俗活用求める／スポニチ

<http://www.sponichi.co.jp/society/news/2013/05/13/kiji/K20130513005798550.html>

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は13日夕、旧日本軍の従軍慰安婦問題について「当時は軍の規律を維持するために必要だった」との認識を重ねて強調した。市役所で記者団の質問に答えた。野党党首の発言だが、韓国政府関係者は強く反発している。

橋下氏は「国を挙げて暴行、脅迫、拉致をした証拠が出てくれば反省しなければいけない」と話す一方、「(2007年に安倍内閣が) 証拠はないと閣議決定している」と述べ、強制連行も重ねて否定した。

また大型連休初めに、沖縄県の米軍普天間飛行場を視察した際、米軍幹部に対し、海兵隊員に風俗業者を活用させるよう求めたことを記者団に明らかにした。「そうしないと海兵隊の猛者の性的エネルギーをコントロールできない」と発言。「建前論だと人間社会は回らない」と持論を展開した。

橋下氏は強制連行について、昨年夏にも否定。その際、橋下氏に面会を求めた元慰安婦が、再度要望していることを明らかにし、公開の場なら応じるとした。「(強制連行が) あるという話になれば、それを否定している人も文句を言わなくなるので、お聞かせ願いたい」とした。

午前には「慰安婦は戦争の悲劇の結果だ。心情を理解し優しく配慮することが必要だ」と述べていた。

菅義偉官房長官は13日の記者会見で「橋下市長個人の見解ではないか。政府の見解は私が明確に申し上げている」と指摘し、旧日本軍の関与と強制性を認めた1993年の河野洋平官房長官談話を見直さない考えを強調した。

「もっと風俗活用を」と橋下氏 凍り付く沖縄の米軍司令官/産経

http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/130513/waf13051319370013-n1.htm

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は13日、安倍晋三首相が4月の国会質疑で「侵略の定義は国によって異なる」との趣旨の発言をしたことに関連し、「学術上、(侵略の) 定義がないことは安倍(晋三)首相が言う通りだ」と述べ、安倍首相と同じ立場であることを強調した。

その上で「周辺諸国に多大な苦痛と損害を与えた事実を受け止め、反省とおわびをしないといけない」とした。

戦時中の慰安婦制度に関しては「あれだけ銃弾が飛び交う中、精神的に高ぶっている猛者集団に慰安婦制度が必要なのは誰だって分かる」と持論を展開する一方、「暴行、脅迫をして拉致した事実

は裏付けられていない」とし、軍による強制連行を否定した。

国会議員の歴史認識をめぐる対応については、「謝るところは謝り、言うべきことは言う、ということできていない」と不満を口にした。

日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は13日夕、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）を視察し同飛行場の司令官と面会した際に「もっと日本の風俗業を活用してほしい」と促していたことを明らかにした。「風俗業を活用してもらわないと、海兵隊の猛者の性的なエネルギーをコントロールできない」と伝えたというが、司令官は「米軍では禁止されている」などと取り合わなかったという。

橋下氏は今月1日、同飛行場を視察。その際、司令官に「合法的に性的なエネルギーを解消できる場所が日本にはある」と述べた上で、海兵隊員に風俗業者を活用させるよう求めたという。橋下氏によると、司令官は凍り付いたような表情をみせ、「米軍では禁止の通達を出している。これ以上、この話はやめよう」と打ち切った。

橋下氏は記者団に対して「(米兵による)事件が収まる因果関係があるようなものではないが、活用を真っ正面から認めないとダメ。兵士は命を落としかねない極限状況に追い込まれており、そのエネルギーを発散させることを考えないといけない」と述べた。

橋下氏はこの日午前、戦時中の慰安婦制度について「必要なのは誰だって分かる」と発言。夕方、その発言について改めて言及した際、司令官とのやり取りを明らかにした。

共同通信（日刊スポーツ）

<http://www.nikkansports.com/general/news/f-gn-tp3-20130513-1126750.html>

橋下徹大阪市長は、昨年8月に韓国の李明博大統領（当時）が島根県・竹島に上陸したのを受け、従軍慰安婦めぐり旧日本軍の強制連行を否定するとともに「日韓両国の根っこでくすぶっている」と訴えた。

証拠などに関する論戦の必要性も主張してきた。

「慰安婦が軍に暴行、脅迫を受けて連れてこられた証拠はない」。

橋下氏は同8月21日、日韓関係に関する質問に答える中で、問わず語りに従軍慰安婦の強制連行を否定する見解を表明。

同24日には、強制性を認めた93年の河野洋平官房長官談話を「あいまいな表現で、日韓関係をこじらせる最大の元凶だ」とこき下ろした。

9月には「日本だけ国際社会から非難されることなのか。国家のプライドに関わる」と他国との比較に言及。

一連の発言に韓国側は反発。

9月下旬、来日した元慰安婦の女性が大阪市役所を訪問し発言の撤回と謝罪を申し入れたが、橋下氏は登庁しておらず、面会は実現しなかった。

橋下氏はこの日、元慰安婦が再度面会を要望していることを明らかにし、公開の場なら応じるとした。

「(強制連行が) あるという話になれば、それを否定している人も文句を言わなくなるので、お聞かせ願いたい」とした。(共同)

韓国・中央日報

橋本市長は2003年のある放送で「日本人が中国で売春行為をするのは公的開発援助(ODA)と同じようなもの」という発言をして物議をかもしたことがある。

また昨年8月にも「慰安婦が(日本軍に)暴行・脅迫にあつて引きずられて行ったという証拠はない」として「あるならば韓国が出せば良いだろう」と話して韓国をはじめとする周辺国の反発を買った。

橋下氏の慰安婦発言、韓国が批判「歴史認識の欠如」/共同

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013051301002287.html>

【ソウル共同】韓国政府関係者は13日、日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長が従軍慰安婦制度は「軍の規律を維持するために必要だった」と述べたことについて「歴史認識と女性の人権尊重意識の深刻な欠如を露呈した」と批判した。聯合ニュースが報じた。

韓国政府関係者は「慰安婦問題は日本の帝国主義の膨張過程で広範囲に起きた戦時の性暴力行為だ」と指摘。「重大な人権侵害というコンセンサスが国際社会で形成されている」と述べた。

その上で、橋下氏に対し「帝国主義の過去の行いを反省し、時代錯誤的な認識と言行を是正しなければならない」と注文を付けた。

「維新」支持率過去最低に、参院選への危機感高まる／TBS

<http://headlines.yahoo.co.jp/videonews/jnn?a=20130513-00000033-jnn-pol>

年末の総選挙で躍進した「日本維新の会」の存在感に陰りが出ています。

JNNでは11、12日に世論調査を実施しました。それによりますと、安倍内閣の支持率は74%で、依然として高い水準を維持していることが明らかになりました。その一方で、政党支持率をみますと、日本維新の会の支持率が総選挙直後の1月の7.2%から5ポイント下がり、今月は2.2%と、調査を始めた去年10月以来、過去最低を記録しました。党内では7月の参議院選挙への危機感が高まっていて、反転攻勢に向け、橋下共同代表がどう動くのか注目されています。

12日、大阪市内でのイベントに笑顔で参加した日本維新の会の橋下共同代表。しかし、11、12日に実施したJNNの世論調査では政党支持率が過去最低を記録し、笑ってはいられない状況に追い込まれています。

「なかなか国民の皆さんに支持を得る力といますか、そういうものが無くなってきているということは確かです、このままいけば年内消滅というのもあり得るんだと僕は思っています」（日本維新の会・橋下徹共同代表）

週末、橋下氏は危機感を表明しましたが、最近の発言には焦りもみられます。

「護憲派こそうさんくさいものないですよ。護憲派の人たちってのは今の憲法が絶対的に正しいと思っているでしょ」（橋下徹共同代表 今月9日）

持論の「憲法改正」をめぐり、こう語った3日後。

「自民党とはやっぱり憲法観の違いをしっかりと出さなければいけない。国家と公権力というものを区分けがあんまりされていない中で、公権力を強く出しすぎです。僕はこれは怖いですね」（橋下徹共同代表）

自民党とも違うということをしきりにアピールし、存在感の復活に躍起になっています。

「(去年12月の)衆議院の選挙と違って、維新の会は決して今昇り竜の勢いにあるとは私言えないと思いますね」（日本維新の会・石原慎太郎共同代表 今月8日）

事態打開の最後の切り札として石原共同代表らが求めているのは、知名度の高い橋下氏自身の参院選への出馬です。

「僕らはぜひ出ていただきたいという思いは持っています。発信力ということで期待はしています」（日本維新の会・松野頼久国会議員団幹事長 13日午後）

しかし、当の橋下氏は・・・。

「僕が国会議員になってもクソの役にも立ちませんよ。国会議員になっても税金の無駄遣いです」
(橋下徹共同代表 今月9日)

「石原さんも何か共通認識の上で発言しているように見える。最後は仕方なく橋下さんが出てくるのではないか」(自民党関係者)

去年の衆院選での勢いを夏の参院選で再び示すことはできるのでしょうか。(13日 16:54)

http://blog.goo.ne.jp/harumi-s_2005/e/aff52be7020205073a99a251b5e3a834